

宗教と保育

キリスト教保育・仏教保育における保育理念の検討

Religion and Childcare

An Examination of Childcare Philosophy in Christian and Buddhist Childcare

渡辺 直人¹ (Naoto WATANABE)

要約

わが国の保育・幼児教育の歴史的変遷を概観すると、宗教と強い結びつきがあることがわかる。本研究では宗教主義保育における保育理念（目標・特色等）の分析を行い、キリスト教・仏教それぞれの保育が持つ宗教性、価値観を明らかにした。方法は、キリスト教・仏教それぞれの宗教主義保育・幼児教育関連施設を40園選抜し、示されている保育理念を抽出した。それらをテキストマイニングにより分析し、単語頻出度と「保育」との共起回数を求めた。分析の結果、キリスト教保育においては、感謝や礼拝、聖書、愛を大切にしていることが示唆された。仏教保育においては、感謝やいのち、思いやり、協力や集団生活を大切にしていることが示唆された。

An overview of the historical evolution of childcare and early childhood education in Japan reveals strong ties to religion. This study analyzed the philosophy (goals, characteristics, etc.) of religious-based childcare, and clarified the religiosity and values of both Christian and Buddhist childcare. The method used was to select 40 Christian and Buddhist religiously oriented childcare and early childhood education facilities, and extract the philosophy of childcare expressed in each. These were analyzed by text mining to determine word frequencies and the number of times the word "childcare" co-occurred. The results of the analysis suggested that Christian day-care centers place importance on gratitude, worship, the Bible, and love. The results suggest that Buddhist childcare emphasizes gratitude, life, compassion, cooperation, and group life.

キーワード

仏教保育 キリスト教保育 宗教保育 保育理念 宗教観

¹ 責任著者。和歌山信愛女子短期大学 保育科 講師（専任）

〒640-0341 和歌山県和歌山市相坂 702 番地 2 E-Mail:nwatanabe@shinai-u.ac.jp

利益相反の有無

本研究に関連し、開示すべき COI 関係にある企業等はない。

1. はじめに

学校教育、特に義務教育においては公立学校が多数を占め、私立学校の数は少ない。一方で保育・幼児教育は私立の数が多く、また公営から民営化の動きも活発化している。学校法人のみならず、社会福祉法人、宗教法人、株式会社も保育事業に参画している。民営化が進む昨今では、同時に保育内容・形態の多様化も進んでいる。独自の保育理念を掲げ、ユニークな保育を行う園もある。

特に保育・幼児教育は宗教が強くかかわっている園が多い。寺社・教会が設立した保育・幼児教育施設が数多く存在している。古くから、わが国においては寺社等の宗教施設にて子どもの教育・保育が行われてきた過去もあり、かねてからも宗教との親和性は高い。現代においても同様に幼児教育と宗教の関わりは残っている。

宗教と保育

宗教の保育事業に関しては、キリスト教と仏教が古くから参画している。まず、これまでのキリスト教と保育の関わりについて概観していく。

キリスト教保育は、わが国の保育の発展に大きく貢献してきた。キリスト教においては 19 世紀後期において、多くの宣教師やその関係者が来日し、我が国の保育事業に携わった。M. プライン、A. L. ハウ、M. トゥルー等、わが国の保育で功績をのこした人物も多い。

1876 年、わが国で初めての幼稚園となる東京女子師範学校附属幼稚園が設立された。これは関信三や中村正直といった人物らの尽力のもとに設立されたものである。特に関信三は多くの文献を訳し、当時の幼児教育のみならず後世にも多大な影響を与えた人物である。関は仏教寺院家系の生まれであり、破邪護法者としても知られているほどである（立浪、1994）。だが、彼は幼稚園設立と発展のため、西欧人の助けを借りて保育事業に勤しんだ。

元来、幼稚園は F. フレーベルが設立した幼児の教育施設である。フレーベル自身がキリスト教徒であり、且つフレーベルの父、叔父は牧師として活動していたことから、フレーベルはキリスト教と密接にかかわった環境の中で育ったことがわかっている（津守、1951）。幼稚園における価値観の根底にはキリスト教が深く関わっていることは自明のことである。

特に幼稚園設立にあたって大きく貢献した人物が、松野クララである。本名はクララ・チーテルマンといい、ドイツ出身である。当時ドイツに留学していた松野と出会い、結婚したことで松野クララとなった。彼女は、ドイツでフレーベルが設立した保母養成施設で、フレーベルの幼児教育理論を学んだ人物である。彼女が東京女子師範学校附属幼稚園の設立に大きな助けとなったことはいうまでもない。はじめは英語教師として東京女子師範学校で教鞭をとっていた。その後、附属幼稚園に着任し、5 年間保母の指導にあたったとされる（原田、2010）。日本で初めての幼稚園保母である豊田英雄、近藤浜は、彼女の教えを受けていた。そして教えを受けた両名が、次に幼稚園を支えていくことになる。

松野クララがキリスト教徒であったかは不明である。原田（2010）もいうように、彼女の生涯は多くが謎に包まれているため判断しがたい点も多い。だが、西欧出身であることから、キリスト教的価値観は根底にあったのではないかと考えられる。

19世紀後半からキリスト教の教会は、宣教・伝道の一環として、保育・幼児教育を事業の一つとして組み入れていった（梅根、1974）。豊泉（2015）によると「1877年、アメリカ最初の教会立幼稚園がオハイオ州トレドの三位一体教会によって設けられ、翌年、牧師 R・ヒーバー・ニュートンの指導の下にアンソン記念教会が設立した幼稚園がそれに続いた。それ以来、教会および信徒団によって幼稚園が設けられた。さらに、教会の幼稚園事業は国内に限られることなく、伝道事業の一環としてトルコ、中国、日本などのアジアにも拡大された。」という。このように、19世紀後半において、キリスト教保育はわが国のみならず、布教とともに全世界へと広がっていった。

わが国においては、幼稚園のみならず、保育事業全般で西欧人・キリスト教宣教者が活躍している。キリスト教徒・西欧人による貢献の真髄は、保育者養成にある。日本の保育者養成の系譜を概観すると、官営による保育者養成と、キリスト教による保育者養成の2つの系譜があることが知られる。実際に、昭和5年まで、私立の保育者養成校は、すべてがキリスト教関連団体によるものであったとされる（志賀、1996）。

日本で初めて設立された私立保育所は、亜米利加婦人教授所であり、これは M. プラインという宣教者によって設立された施設である。また、日本で初めての私立保育士養成校「桜井女学校（幼稚保育科）」も、宣教師であった M. ツルーによって設立された施設である。桜井女学校幼稚保育科は既に閉校となっており現在は存在していないが、現存する中で最も古い私立の保育士養成校「頌栄短期大学」は、A. L. ハウによって設立された施設である（志賀、1996）。このようにキリスト教はわが国の保育事業に大きく関わってきた経緯が存在する。

同じく、古来よりわが国に根付いた宗教である仏教においても、古くから保育事業が展開されている。仏教保育は、日本二大宗教保育の一つとして数えられている。

元来、仏教などの寺社・宗教施設においては、わが国においても児童の教育的施設として役割を果たしてきた。江戸時代においては、寺子屋が存在し、予てより子どもの学習の場としてもあり続けた。現代においても、例えば無着成恭のように、寺社出身の者が教師としてなった例は多く、教育とは近い存在であった。

現代の仏教における保育に関して概観すると、日本仏教保育協会が中心的な役割を果たしている。宗教には様々な宗派があることが知られている。日本キリスト教保育協会は、プロテスタントの幼保関連団体が加盟しているが、日本仏教保育協会は、宗派を問わずに加盟している。

次に、仏教における保育者養成の成り立ちを概観する。保育者養成に関しては、仏教よりもキリスト教系団体が先んじて着手している。仏教系で最も古い保育者養成施設は、現在のこども教育宝仙大学（1935年設立）であるといわれている（日本仏教保育協会 HP 参照）。棒・古川（2020）によると、この養成所設立の背景には、まさにキリスト教保育者養成の活動があったという。1926年に幼稚園令が發布されて以降、幼稚園に子どもを入園させる一般家庭が増加し、同時に保育者養成も急務となったという。しかし幼稚園、保育者養成校の数が少なかった20世紀前半、仏教関連の子弟・子息が、キリスト教系の幼稚園・保育者養成校に入学することが起きていたという。このことを踏まえ、仏教においても保育事業の必要性が生まれ、仏教保育協会保姆養成所（現こ

ども教育宝仙大学) ができたという。

その後仏教保育は数を増やし、全都道府県にまで広がった。日本仏教保育協会に加盟している保育士養成校も、全国で30の施設を擁すほどに広がっている(日本仏教保育協会「加盟園・養成機関」参照)。

以上、わが国におけるこれまでの宗教と保育の関わりについて概観していった。これら2大宗教保育の手法はどのような特徴があるかと問われると、宗教行事を除き、何か特別な手法がとられているわけではない。それぞれの宗教の理念を尊重した上で日常の保育が行われている園が多い。ただし、理念の尊重だけではなく、日本キリスト教保育連盟、日本仏教保育協会ともに基準となるテキスト・教材は用意されている。キリスト教保育においては『キリスト教保育ハンドブック』『新キリスト教保育指針』が存在し、仏教保育においては『仏教保育のためのハンドブック』が存在している。それぞれが保育における指導者用要綱となっている。

研究の目的

幼稚園創設以降、宗教と保育は密接に結び付き、発展していった。現代ではキリスト教、仏教それぞれの宗教主義保育が存在するが、これら2大宗教保育は、それぞれどのような宗教的価値観をもっているのだろうか。実際にどのような理念をもち、保育の中ではどのような価値観を重視するかは施設によって異なるところである。

宗教それぞれに教義は異なるが、生命尊重や平等観といった共通項も数多く存在する。ただ、園の理念・特色は、多くても数個程度にとどまると考える。各宗教の経典の膨大な内容の中でも、特に大切にしたい内容が、理念・特色として第一にあらわれてくると考える。そこで、多数の標本から見出される共通項こそ、それら宗教保育の宗教観といえるのではないだろうか。これらを明らかにすることは、それぞれの保育が、宗教をどのように受け止め、認識し、保育に影響を及ぼしているか、この実態解明及び今後の宗教学、保育学発展の一資料と成り得るであろう。

本研究では、これら宗教主義保育における保育理念の分析を通して、それぞれの宗教保育が持つ、保育における宗教観を明らかにする。

2. 方法

関東地方に存在するキリスト教系、及び仏教系の幼児教育施設(幼稚園、保育所、こども園等)を、それぞれ40の園を無作為に選択した。幼児教育施設の選定にあたっては、キリスト教系の幼児教育施設は「キリスト教保育連盟 関東部会」から抽出し、仏教系の幼児教育施設は「日本仏教保育協会」にて紹介されている加盟施設から抽出した。それぞれのWebサイトを閲覧して、そこから保育・教育理念、特色と考えられる部分を抜粋した。それら文章をまとめ、テキストマイニングにより分析を行った。

具体的には、①「品詞毎の単語出現回数・頻出度」と、②「保育」における「共起回数」を求めた。頻出度・共起回数共に、出現回数3回以下の単語を除外し、出現回数の平均値を求め、上回った単語の中から、筆者の視点で宗教に関連するワードを抽出した。

共起回数というのは、2つの単語がセットになって出現した回数を示す。「保育」との共起回数

を求めることで、どのような宗教的ワードが保育とセットになっているか確認できる。宗教的要素の抽出には必要な分析であると判断し、この手法を採用した。

頻出度は、その標本全体の中で特定のワードが何回出現したかを示す。頻出度に関しては「保育」との共起回数では確認ができなくとも、出現回数で確認ができたワードは、すなわち保育とは距離がある単語として位置づけることが出来るだろう。施設で考えている宗教観、保育で重視する価値観の違いを明らかにするためにも、頻出度の確認が必要であると考えられる。

3. 結果

キリスト教保育、仏教保育それぞれの40の園における、保育・教育理念を抜粋し、テキストマイニングを行った。単語頻出度、及び共起回数の結果を、キリスト教保育、仏教保育の順で示す。なお、共起については「保育」との共起を対象とする。その共起の中で、どのような宗教的ワードがあるかを確認する。

キリスト教保育 頻出度

以下では、キリスト教保育の教育理念のテキストマイニングの結果を示す。まず、頻出度の結果を示す。

名詞は「子ども」「保育」「大切」「遊び」「幼稚園」「生活」「自分」「神様」「キリスト教」「一人ひとり」「成長」「友だち」「豊か」「礼拝」「自由」「教育」「イメージ」「存在」「活動」「保育者」「個性」「感謝」「環境」「幼児」「喜び」「クラス」「年齢」「家庭」「自然」「経験」「仲間」「日々」「世界」「教師」「信頼」「聖書」「時間」「方針」「体験」「創造」「発達」「絵本」「必要」「違い」「幼児期」「毎日」「たくさん」「人数」「園児」「私たち」「みんな」「健康」「社会」「行動」「言葉」「恵み」「他者」「お互い」「保護者」が確認された(表1)。

動詞は「考える」「育てる」「愛す」「合う」「知る」「育つ」「育む」「遊ぶ」「思う」「願う」「守る」「祈る」「学ぶ」「与える」「感じる」「生きる」「過ごす」「養う」「見る」「聞く」「関わる」「伝える」「基づく」「支える」「いただく」「見守る」「目指す」「信じる」「伸ばす」が確認された(表2)。

形容詞は「良い」「楽しい」「ない」「あたたかい」「やさしい」が確認された(表3)。

キリスト教保育 共起回数

以下では、キリスト教保育の教育理念において「保育」と共起したワードを示す。「キリスト教」「子ども」「大切」「幼稚園」「方針」「行う」「神様」「遊び」「基づく」「目標」「保育」「成長」「愛す」「生活」「教育」「理念」「クラス」「できる」「中心」「礼拝」「育てる」「一人ひとり」が確認された(表4)。

以上、キリスト教保育におけるテキストマイニングの結果を示した。以上から宗教に関連するワードを筆者の視点のもとで抽出した。頻出度では「神様」「感謝」「礼拝」「聖書」「愛す」「見守る」といった宗教的ワードが抽出された。共起回数では「愛す」「神様」「礼拝」といった宗教的

ワードが抽出された。

表 1 名詞の出現回数（キリスト教保育）

	品詞	単語	出現回数		品詞	単語	出現回数
1	名詞	子ども	227	31	名詞	仲間	18
2	名詞	保育	134	32	名詞	日々	18
3	名詞	大切	119	33	名詞	世界	17
4	名詞	遊び	88	34	名詞	教師	17
5	名詞	幼稚園	79	35	名詞	信頼	17
6	名詞	生活	71	36	名詞	聖書	17
7	名詞	自分	66	37	名詞	時間	17
8	名詞	神様	59	38	名詞	方針	16
9	名詞	キリスト教	46	39	名詞	体験	16
10	名詞	一人ひとり	46	40	名詞	創造	16
11	名詞	成長	42	41	名詞	発達	15
12	名詞	友だち	41	42	名詞	絵本	15
13	名詞	豊か	36	43	名詞	必要	15
14	名詞	礼拝	35	44	名詞	違い	14
15	名詞	自由	30	45	名詞	幼児期	14
16	名詞	教育	30	46	名詞	毎日	14
17	名詞	イメージ	29	47	名詞	たくさん	13
18	名詞	存在	29	48	名詞	人数	13
19	名詞	活動	27	49	名詞	園児	13
20	名詞	保育者	27	50	名詞	私たち	13
21	名詞	個性	26	51	名詞	みんな	13
22	名詞	感謝	25	52	名詞	健康	13
23	名詞	環境	24	53	名詞	社会	13
24	名詞	幼児	21	54	名詞	行動	13
25	名詞	喜び	21	55	名詞	言葉	13
26	名詞	クラス	21	56	名詞	恵み	12
27	名詞	年齢	20	57	名詞	他者	12
28	名詞	家庭	19	58	名詞	お互い	12
29	名詞	自然	19	59	名詞	保護者	12
30	名詞	経験	18				

Note:出現回数の平均値は12.72であった。これを超えたワードを採択した。「こと、たち、よう、もの、ため、それ」は除外した。「ひとりひとり、こども、子供、友達」は、除外した上でそれぞれの類語に回数を加算した。

表 2 動詞の出現回数（キリスト教保育）

	品詞	単語	出現回数		品詞	単語	出現回数
1	動詞	考える	57	16	動詞	生きる	19
2	動詞	育てる	40	17	動詞	過ごす	16
3	動詞	愛す	48	18	動詞	養う	15
4	動詞	合う	32	19	動詞	見る	14

宗教と保育
 キリスト教保育・仏教保育における保育理念の検討

5	動詞	知る	29	20	動詞	聞く	14
6	動詞	育つ	28	21	動詞	関わる	14
7	動詞	育む	28	22	動詞	伝える	14
8	動詞	遊ぶ	39	23	動詞	基づく	13
9	動詞	思う	22	24	動詞	支える	12
10	動詞	願う	21	25	動詞	いただく	12
11	動詞	守る	20	26	動詞	見守る	12
12	動詞	祈る	20	27	動詞	目指す	11
13	動詞	学ぶ	20	28	動詞	信じる	11
14	動詞	与える	20	29	動詞	伸ばす	11
15	動詞	感じる	19				

Note:出現回数の平均値は11であった。これを超えたワードを採択した。「れる、なる、ある、られる、する、いる、いく、もつ、持つ、行う、一人、やる、おる、なさる、くれる、出来る、くださる、くる」は除外した。「あそぶ、愛する」は除外した上で、類義語に回数を加算した。

表3 形容詞の出現回数（キリスト教保育）

	品詞	単語	出現回数
1	形容詞	良い	22
2	形容詞	楽しい	19
3	形容詞	ない	17
4	形容詞	あたたかい	10
5	形容詞	やさしい	11

Note:出現回数の平均値は9であった。これを超えたワードを採択した。「よい、いい、うれしい、温かい、優しい」は除外した上で、それぞれの類義語に統合し、回数を加算した。

表4 保育との共起（キリスト教保育）

	単語ペア	単語1	単語2	共起回数	単語ペア	単語1	単語2	共起回数
1	キリスト教 保育	キリスト教	保育	35	12 保育 成長	保育	成長	9
2	保育 子ども	保育	子ども	29	13 保育 愛す	保育	愛す	9
3	保育 大切	保育	大切	22	14 保育 生活	保育	生活	8
4	保育 幼稚園	保育	幼稚園	22	15 保育 教育	保育	教育	8
5	保育 方針	保育	方針	19	16 保育 理念	保育	理念	7
6	保育 行う	保育	行う	18	17 クラス 保育	クラス	保育	7
7	保育 神様	保育	神様	14	18 できる 保育	できる	保育	7
8	保育 遊び	保育	遊び	13	19 中心 保育	中心	保育	6
9	保育 基づく	保育	基づく	12	20 保育 礼拝	保育	礼拝	6
10	保育 目標	保育	目標	12	21 保育 育てる	保育	育てる	6
11	人数 保育	人数	保育	12	22 一人ひとり 保育	一人ひとり	保育	6

Note:出現回数平均値は6であった。これを上回ったワードを採択した。

仏教保育 頻出度

以下では、仏教保育の教育理念のテキストマイニングの結果を示す。まず、単語頻出度の結果を示す。

名詞は「子ども」「保育」「大切」「幼稚園」「自分」「仏教」「教育」「生活」「豊か」「環境」「友だち」「先生」「遊び」「成長」「活動」「気持ち」「感謝」「人間」「園児」「言葉」「指導」「様々」「いのち」「必要」「発達」「目標」「経験」「一人ひとり」「家庭」「体験」「幼児」「思いやり」「素直」「表現」「私たち」「精神」「毎日」「個性」「行事」「本園」「みんな」「協力」「自然」「健康」「理念」「理解」「育成」「創造」「意欲」「元気」「自ら」「保育者」「行動」「身体」「基本」「集団生活」「保護者」「保育園」「生活習慣」「実践」「教え」「社会」「時期」「教育方針」「年齢」「心身」「すべて」「相手」「思い」「大人」「興味」「集団」「情操」「それぞれ」「一つ」「いろいろ」が確認された(表5)。

動詞は「育てる」「できる」「考える」「思う」「持つ」「生きる」「行う」「合う」「やる」「育つ」「感じる」「遊ぶ」「育む」「関わる」「知る」「学ぶ」「合わせる」「言う」「見る」「くる」「見守る」「作る」「養う」「みる」「願う」「広げる」「出来る」「教える」「使う」「基づく」「応じる」「楽しむ」「伝える」「つながる」「過ごす」が確認された(表6)。

形容詞は「良い」「楽しい」「明るい」「正しい」「やさしい」「ない」「ほしい」が確認された(表7)。

仏教保育 共起回数

以下では、仏教保育の教育理念において「保育」と共起したワードを示す。「子ども」「仏教」「大切」「育てる」「行う」「考える」「発達」「目標」「豊か」「実践」「幼稚園」「遊び」「成長」「生活」「集団」「保護者」「先生」「良い」「指導」「情操教育」「ひとりひとり」「集中」「心身」「様々」「個性」「理念」「引き出す」「クラス」「体験」「方針」「生きる」「一つ」「正しい」「友だち」「健康」「明るい」「基本」「自主」「行動」「創造」「育つ」「楽しい」「教室」「保育者」「環境」「自由」「応じる」「本園」「選ぶ」「見る」「専門」「育成」が確認された(表8)。

以上、仏教保育におけるテキストマイニングの結果を示した。以上から宗教に関連するワードを筆者の視点のもとで抽出した。頻出度では「感謝」「いのち」「思いやり」「協力」「集団生活」「見守る」といったワードが抽出された。共起回数では特に宗教性を帯びたワードは確認できなかった。

表5 名詞の出現回数(仏教保育)

	品詞	単語	出現回数		品詞	単語	出現回数
1	名詞	子ども	250	39	名詞	行事	19
2	名詞	保育	131	40	名詞	本園	19
3	名詞	大切	110	41	名詞	みんな	19
4	名詞	幼稚園	77	42	名詞	協力	19
5	名詞	自分	72	43	名詞	自然	19
6	名詞	仏教	68	44	名詞	健康	19
7	名詞	教育	62	45	名詞	理念	18

宗教と保育
キリスト教保育・仏教保育における保育理念の検討

8	名詞	生活	50	46	名詞	理解	18
9	名詞	豊か	48	47	名詞	育成	18
10	名詞	環境	47	48	名詞	創造	18
11	名詞	友だち	41	49	名詞	意欲	18
12	名詞	先生	36	50	名詞	元気	18
13	名詞	遊び	35	51	名詞	自ら	17
14	名詞	成長	34	52	名詞	保育者	17
15	名詞	活動	33	53	名詞	行動	17
16	名詞	気持ち	32	54	名詞	身体	16
17	名詞	感謝	31	55	名詞	基本	16
18	名詞	人間	31	56	名詞	集団生活	16
19	名詞	園児	30	57	名詞	保護者	16
20	名詞	言葉	30	58	名詞	保育園	16
21	名詞	指導	29	59	名詞	生活習慣	15
22	名詞	様々	28	60	名詞	実践	15
23	名詞	いのち	25	61	名詞	教え	15
24	名詞	必要	24	62	名詞	社会	15
25	名詞	発達	24	63	名詞	時期	14
26	名詞	目標	24	64	名詞	教育方針	14
27	名詞	経験	24	65	名詞	年齢	14
28	名詞	一人ひとり	24	66	名詞	心身	14
29	名詞	家庭	22	67	名詞	すべて	14
30	名詞	体験	21	68	名詞	相手	13
31	名詞	幼児	21	69	名詞	思い	13
32	名詞	思いやり	21	70	名詞	大人	13
33	名詞	素直	21	71	名詞	興味	13
34	名詞	表現	20	72	名詞	集団	12
35	名詞	私たち	20	73	名詞	情操	12
36	名詞	精神	20	74	名詞	それぞれ	12
37	名詞	毎日	20	75	名詞	一つ	12
38	名詞	個性	19	76	名詞	いろいろ	12

Note:出現回数の平均値は12であった。これを上回ったワードを採択した。「こと、たち、よう、もの、ため、それ、これ、さま」は除外した。「友達、子供、一人ひとり」は除外した上で、それぞれの類義語に回数を加算した。

表6 動詞の出現回数(仏教保育)

	品詞	単語	出現回数		品詞	単語	出現回数
1	動詞	育てる	88	19	動詞	見る	16
2	動詞	できる	71	20	動詞	くる	16
3	動詞	考える	65	21	動詞	見守る	16
4	動詞	思う	38	22	動詞	作る	15
5	動詞	持つ	35	23	動詞	養う	14
6	動詞	生きる	32	24	動詞	みる	14
7	動詞	行う	31	25	動詞	願う	13
8	動詞	合う	30	26	動詞	広げる	13
9	動詞	やる	29	27	動詞	出来る	12

Religion and Childcare
An Examination of Childcare Philosophy in Christian and Buddhist Childcare

10	動詞	育つ	24	28	動詞	教える	12
11	動詞	感じる	24	29	動詞	使う	12
12	動詞	遊ぶ	23	30	動詞	基づく	12
13	動詞	育む	22	31	動詞	応じる	12
14	動詞	関わる	21	32	動詞	楽しむ	11
15	動詞	知る	21	33	動詞	伝える	11
16	動詞	学ぶ	20	34	動詞	つながる	11
17	動詞	合わせる	19	35	動詞	過ごす	11
18	動詞	言う	17				

Note:出現回数の平均値は11であった。これを上回ったワードを採択した。「する、いる、いく、ある、なる、れる、おる、くれる、いける、つける、られる、もつ、しまう、いう、いたす」は除外した。

表7 形容詞の出現回数（仏教保育）

	品詞	単語	出現回数
1	形容詞	良い	40
2	形容詞	楽しい	35
3	形容詞	明るい	30
4	形容詞	正しい	26
5	形容詞	やさしい	21
6	形容詞	ない	16
7	形容詞	ほしい	16

Note:出現回数の平均値は15であった。これを上回ったワードを採択した。「よい、欲しい、あたたかい、たのしい、いい、優しい」は除外した上で、それぞれの類義語に出現回数を加算した。

表8 保育との共起（仏教保育）

	単語ペア	単語1	単語2	共起回数	単語ペア	単語1	単語2	共起回数
1	保育 子ども	保育	子ども	50	27	保育 引き出す	保育 引き出す	6
2	仏教 保育	仏教	保育	35	28	クラス 保育	クラス 保育	6
3	保育 大切	保育	大切	20	29	体験 保育	体験 保育	6
4	保育 育てる	保育	育てる	20	30	保育 方針	保育 方針	6
5	保育 行う	保育	行う	18	31	保育 生きる	保育 生きる	6
6	保育 考える	保育	考える	14	32	一つ 保育	一つ 保育	5
7	保育 発達	保育	発達	13	33	保育 正しい	保育 正しい	5
8	保育 目標	保育	目標	12	34	保育 友だち	保育 友だち	5
9	保育 豊か	保育	豊か	11	35	保育 健康	保育 健康	5
10	保育 実践	保育	実践	10	36	保育 明るい	保育 明るい	5
11	保育 幼稚園	保育	幼稚園	10	37	保育 基本	保育 基本	5
12	保育 遊び	保育	遊び	9	38	保育 自主	保育 自主	5
13	保育 成長	保育	成長	9	39	保育 行動	保育 行動	5
14	保育 生活	保育	生活	8	40	保育 創造	保育 創造	5
15	保育 集団	保育	集団	7	41	保育 育つ	保育 育つ	5
16	保育 保護者	保育	保護者	7	42	保育 楽しい	保育 楽しい	5
17	保育 先生	保育	先生	7	43	保育 教室	保育 教室	5

宗教と保育
キリスト教保育・仏教保育における保育理念の検討

18	保育 良い	保育	良い	7	44	保育 保育者	保育	保育者	5
19	保育 指導	保育	指導	7	45	保育 環境	保育	環境	5
20	保育 情操教育	保育	情操教育	7	46	保育 自由	保育	自由	5
21	ひとりひとり 保育	ひとりひ とり	保育	7	47	保育 応じる	保育	応じる	5
22	保育 集中	保育	集中	6	48	保育 本園	保育	本園	5
23	保育 心身	保育	心身	6	49	保育 選ぶ	保育	選ぶ	5
24	保育 様々	保育	様々	6	50	保育 見る	保育	見る	5
25	保育 個性	保育	個性	6	51	保育 専門	保育	専門	5
26	保育 理念	保育	理念	6	52	保育 育成	保育	育成	5

Note:出現回数の平均値は5であった。これを上回ったワードを採択した。「いく 保育」「保育 私たち」「おる 保育」は除外した。

総括

以上、キリスト教保育と仏教保育に関する保育理念をテキストマイニングした結果を示した。頻出度・共起回数を概観し、宗教性を帯びたワードを抽出した結果、2 大宗教保育の持つ宗教観として、以下のエッセンスが抽出された。

①単語頻出度より導き出されたエッセンス

キリスト教保育・仏教保育両者ともにそれぞれの宗教を尊重し、それらを基に保育を行っている。キリスト教保育では、全体的に感謝や礼拝、聖書、見守ること、そして愛を大切にしている。仏教保育では、全体的に感謝やいのち、思いやり、協力や集団生活、そして見守ることを大切にしている。

②「保育」との共起回数より導き出されたエッセンス

キリスト教保育は保育の中でも愛や神、礼拝を大切にしている。

4. 考察

以上、キリスト教保育と仏教保育、それぞれの施設の保育理念（理念・目標・特色等）を分析した。その結果、頻出度から、キリスト教保育においては、感謝や礼拝、聖書、見守ること、そして愛を大切にしていることがわかった。仏教保育においては、感謝やいのち、思いやり、協力や集団生活、そして見守ることを大切にしていることが示唆された。

共起回数について、キリスト教保育においては「愛す」「神様」「礼拝」が挙げられた。一方で、仏教保育では特に宗教性を包含するワードは存在しなかった。このことから、キリスト教保育の保育は宗教性を織り交ぜており、一方で仏教保育の保育は宗教性を含まない、若しくは少なく、保育と宗教はある程度分けられているといえるのではないだろうか。

ただし、これらは保育臨床研究ではなく、各教育理念・特色を抜粋し、テキストマイニングを行った結果である。当然ながら、実際には宗教色が強い仏教保育施設もあるだろう。活字のみでみた研究であり、極めてマクロ的且つ形而上的側面を対象とした研究であることは否めない。

また、保育所と幼稚園、こども園、そして社会福祉法人、学校法人、宗教法人、加えて園の背景に、中心的な役割を果たしている寺社・教会とつながりがあるか、仏教であれば宗派は何か等、そういった点は考慮していないことも留意点として挙げておかねばならないだろう。

加えて、本研究は2023年現代の結果である。両者宗教保育が包含する宗教観とその様態において、過去と比較し変化しているか否か、その点は本研究目的の範囲外であるため触れていない。だが、このトピックもまた宗教学・保育学において重要となる課題であるため、検討の必要があるだろう。

最後に、仏教は、わが国に根付いた宗教である。日本仏教保育協会も示しているとおおり、様々なわが国において、最も身近な宗教であるといえる（日本仏教保育協会「教材紹介」参照）。ゆえに、日常にある、仏教を由来とする行事や所作、発言も、仏教を感じさせず、無意識的に取り組んでいるとも考えられる。これと仏教保育の関連性をどのように捉えるかは検討が必要であろう。

上述したよう、本研究では各 Web サイトに記載されている理念を抜粋し、それらを基に分析したが、今後は実際の保育記録や実地調査を基とした分析も必要になってくるだろう。今後は上記課題を克服し、更なる考究が求められる。

参考文献

- 立浪澄子（1994）． 猶龍 - 安藤劉太郎 - 関信三の軌跡：日本における保育者養成のパイオニアの生涯を探る． 幼児の教育, 93 (10), 17-25.
- 津守眞（1951）． フレーベルの生涯． 幼児の教育, 50 (6), 49-66.
- 原田朋香（2010）． 松野クララの経歴 — 先行研究の整理に基づいて —． 武庫川女子大学大学院教育学研究論集, 第 5 号, 119-128.
- 志賀智江（1996）． 明治・大正期におけるキリスト教主義保育者養成． 青山学院女子短期大学総合文化研究所年報, 4, 67-108.
- 梅根悟監修・世界教育史研究会編（1974）『世界教育史体系 21 幼児教育史 I』講談社, 238.（参考：豊泉清浩（2015）． フレーベル主義幼稚園の展開について． 群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編, 第 64 巻, 103-114.）
- 豊泉清浩（2015）． フレーベル主義幼稚園の展開について． 群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編, 第 64 巻, 103-114.
- 日本仏教保育協会「公益社団法人 日本仏教保育協会のあゆみ」<https://buppo.com/ayumi/>, 2023 年 1 月 30 日取得.
- 捧公志朗・古川伸子（2020）． 仏教保育協会保姆養成所の設立に関する研究ノート． こども教育宝仙大学紀要, 11, 67-74.
- 日本仏教保育協会「加盟園・養成機関」<https://buppo.com/garden/>, 2023 年 1 月 30 日取得.
- 日本仏教保育協会「教材紹介」https://buppo.com/teaching_materials/, 2023 年 2 月 20 日取得.